

氏名 多田 智美 (Tomomi Tada)

所属 薬学部

職種 助手

生年月日 1993年1月19日

[履歴]

[学歴]

2015年3月 岩手大学農学部応用生物化学課程 卒業

[学位]

2015年3月 学士(農学)

[職歴]

2015年4月 青森大学薬学部 助手に採用

[受賞]

[所属学会]

日本薬学会、日本薬学教育学会

[教育活動]

[担当科目]

薬学基礎実習Ⅰ、薬学基礎実習Ⅱ、薬理学実習

[卒業研究指導]

[ゼミ指導]

[教育指導に関する特記事項]

[研究活動]

[研究テーマ]

- ・薬育教材の開発
- ・緑内障発症機序の解明

[著書、論文、総説]

[学会発表]

1. 多田智美¹、堀松星翔¹、盛愛¹、網野佳奈¹、岡島未槻¹、今藍理¹、三浦裕也¹、佐藤昌泰¹、大越絵実加^{1,2} (1 青森大薬, 2 青森大 SDGs 研セ) 地方創生 SDGs (持続可能な開発目標) の取組における高校生の意識調査 2021 年 03 月 日本薬学会 141 年会 (広島)
2. 水谷征法¹、大越絵実加^{1,2}、多田智美¹、佐藤昌泰¹、三浦裕也¹、水野憲一¹ (1 青森大薬, 2 青森大 SDGs 研セ) 高大連携プログラム「高校生科学研究コンテスト」参加者のアンケート 調査からみる地方創生を目指す青森大学薬学部の役割 2021 年 03 月 日本薬学会 141 年会 (広島)
3. 岡島未槻¹、浅田彩季¹、網野佳奈¹、佐藤宥人¹、野口日向子¹、堀松星翔¹、盛愛¹、多田智美¹、三浦裕也¹、佐藤昌泰¹、大越絵実加^{1,2} (1 青森大薬, 2 青森大 SDGs 研セ) コロナ 禍における地域住民への健康イベントによる効果の分析 2021 年 02 月 13 日 AOMORI SIX 合同学修研究発表会 (青森市産官学連携プラットフォーム Web 開催)
4. 多田智美^{1,2}、佐藤昌泰¹、浅田彩季¹、網野佳奈¹、岡島未槻¹、小川達也¹、佐藤宥人¹、相馬理佐¹、邊見華菜恵¹、三浦裕也¹、大越絵実加^{1,3} (1 青森大薬、2 青森大 薬・薬学教育セ、3 青森大 SDGs 研究セ) 青森県地域住民を対象としたフレイル対策 のためのヘルスリテラシー調査 2020 年 09 月 12 日 第 5 回日本薬学教育学会 Web 大会 (帝京)
5. 多田智美^{1,2}、佐藤昌泰¹、浅田彩季¹、網野佳奈¹、岡島未槻¹、小川達也¹、佐藤宥人¹、相馬理佐¹、邊見華菜恵¹、三浦裕也¹、大越絵実加^{1,3} (青森大薬¹、薬学教育セ²、青森大地域貢献セ³) 青森県地域住民におけるフレイルの認知度調査 2020 年 03 月 日本薬学会 140 年会 (京都)
6. 水谷征法¹、大越絵実加^{1,2}、多田智美¹、堀端孝俊³、三浦裕也^{1,4}、水野憲一¹ (1 青森大 薬、2 青森大地域貢献セ、3 青森大ソ、4 青森大 FD 委) 青森大学高大連携プログラム「高校生科学研究コンテスト」の実施と参加生徒が希望する進路の意識調査 2019 年 08 月 第 4 回日本薬学教育学会大会 (大阪)
7. 多田智美¹、堀松星翔^{3,4}、三浦裕也³、大越絵実加^{1,2} (1. 青森大薬、2. 青森大 SDGs 研セ、3. 国際医福大院薬、4. 丸大サクラキ薬局) 高校生のキャリア形成を推進する地域薬剤師との交流 2023 年 03 月 日本薬学会 143 年会 (北海道)

[その他の活動]

[公開講座、講演、セミナー]

[学内各種委員]

卒業研究委員会、薬用植物園、地域創生・SDGs 担当、学生実習委員会、科学コンテスト実行委員会、薬学部同窓会・生涯教育セミナー